

和光市駅南口駅前広場景観づくりワークショップ

実施報告書



平成31年1月

和光市建設部都市整備課
計画担当

1. ワークショップの概要

(1) 開催目的

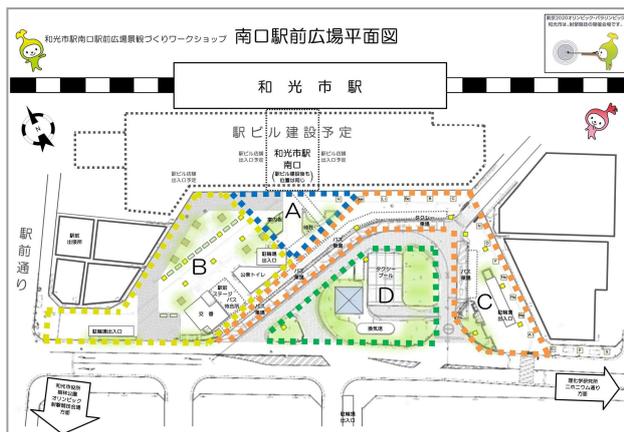
・和光市駅南口駅前広場における景観形成方針策定にあたり、市民の意見を幅広く抽出し、景観形成方針に反映させることを目的としています。

(2) 対象

・南口駅前広場を利用している市内在住、在勤、在学のおおむね16歳以上を対象とし、市の広報やホームページなどで公募しました。

(3) 作業内容

- ・南口駅前広場の現状・課題を把握する。
- ・南口駅前広場のあり方・将来像を検討する。
- ・南口駅前広場の景観づくりの方向性（キャッチフレーズなど）を検討する。



南口駅前広場平面図

和光市駅南口駅前広場景観づくり方針表	
■和光市駅南口駅前広場の景観づくりの方向性（キャッチフレーズやスローガンなど）	
■和光市駅南口駅前広場のあり方・将来像	
エリア別の主な課題（2～3つ）	エリア別のあり方・将来像（こうなったらいいな）
A エリア	
B エリア	
C エリア	
D エリア	

南口駅前広場景観づくり方針表

(4) 開催日時

・平成30年12月15日（土）13時30分～15時30分

(5) 開催場所

・和光市役所6階 602会議室

(6) 参加者

・申し込み：19名 参加：18名 欠席：1名

（各グループ4～5人の4班体制）



和光市キャラクター「さつきちゃん」

2. ワークショップの成果

(1) ワークショップ風景

説 明



作業中



発 表



(2) 各グループのまとめと成果品

1 班「和光市のやさしさがわかる場所」

主な問題・課題点

- 案内板の煩雑さ、配置に問題あり
- トイレの改善（名称変更、認知、利用法ほか）
- 導線が左右に振られる（まっすぐ行きたい→橋上通路の設置）
- タバコの喫煙スペースがない（国際的にはどうか？）
- 車止めポールやシェルターの柱が多く、歩くのに支障
- 一般車用送迎スペースの確保が必要

各エリアの将来像

A：和光市が「わかる」場所

市の印象を与える場所としての景観形成

（多国語対応案内板、花壇の改修等で休めるスペース確保）

B：交流の場

車止めポールの数量や、プランターの配置等を検討しイベント広場を確保

トイレの改善（わかりやすさ、使いやすさ）

C：送迎の場

一般車用送迎箇所の確保が必要

D：緑化の場

「見せる」緑地として適正管理を

2班「Welcome感！」

主な問題・課題点

- ・案内板の改善（デジタル化、スマホ対応（QRコードなど）、多言語対応、子育てしやすい案内（公園マップや散歩マップ））
- ・待ち合わせスペースの確保
- ・トイレの改善（明るさ、外国の方にもわかりやすいピクトグラム）
- ・広場の確保（移動式のプランター、可動式の車止め）
- ・リムジンバスの案内板の設置（バス案内の改善）
- ・スペースをうまく使えていない（広場、緑地、タクシープール）
- ・駐輪させないための緑の柵が歩行者の邪魔になっている
- ・緑を増やす（駅前広場内での緑のバランス）

各エリアの将来像

A：初めて来た人にもわかりやすい市の案内（Welcome感）

待ち合わせスペースの確保

B：広場スペースの有効活用

誰にでも使いやすいトイレ

C：わかりやすいバス案内

安全な歩行者空間の確保（ベビーカーや車イスにも優しい）

D：見せる緑（手入れした緑、公園？）

停車スペースの確保（一般車用、障がい者用）

3班「和んで光り輝くわこう」

主な問題・課題点

- 植栽の統一感
- 緑の見せ方を工夫
- 駅出た際の空間が狭い
- 夜、暗く不安な感じがする。特にトイレ
- 床が汚ならしい

各エリアの将来像

A：空間の確保

案内板近代化

B：トイレの近代化（グローバル化）

不安にさせない光

C：ニホニウム通りの認知不足

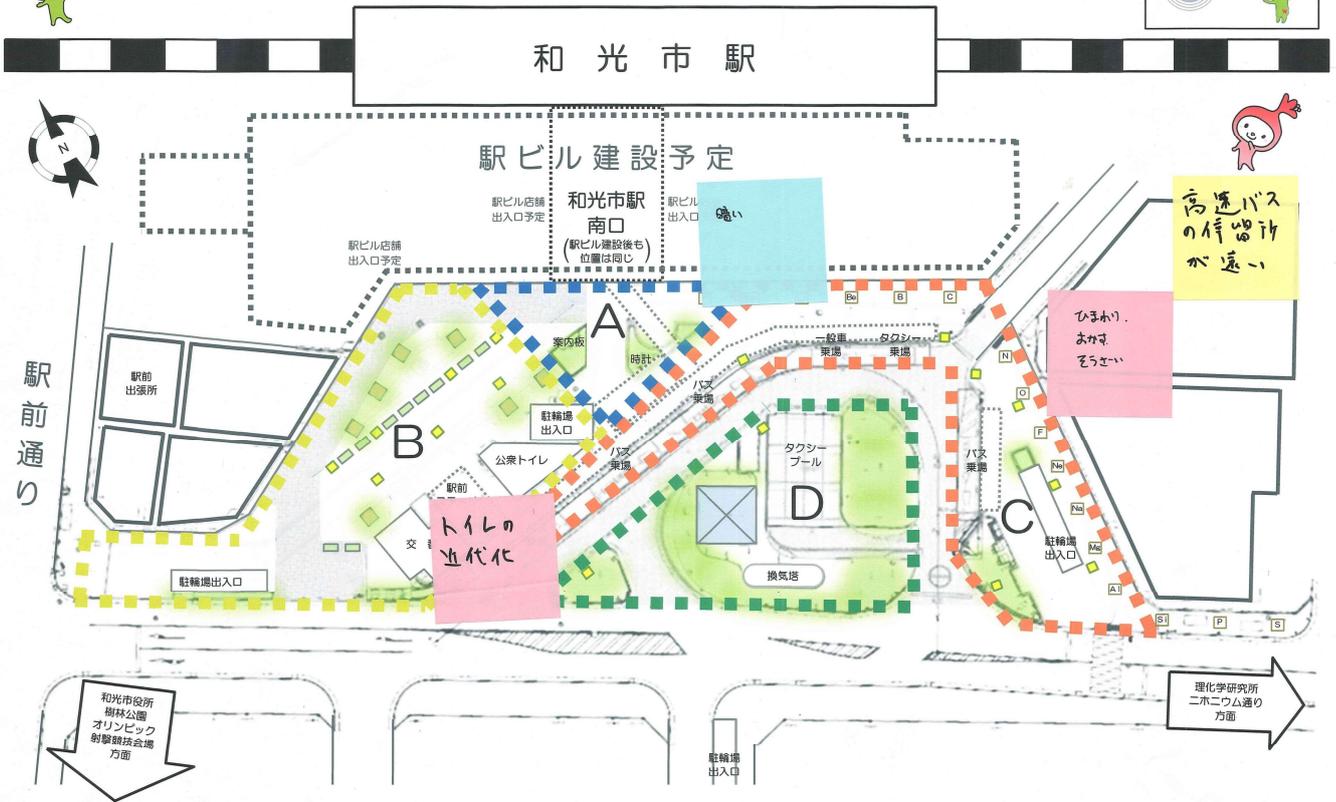
羽田空港バスへ案内

交流の場

D：イングリッシュガーデンのように見せる緑



和光市駅南口駅前広場景観づくりワークショップ 南口駅前広場平面図



和光市駅南口駅前広場景観づくりワークショップ 南口駅前広場景観づくり方針表

■和光市駅南口駅前広場の景観づくりの方向性 (キャッチフレーズやスローガンなど)

和らんで 光り輝く わこう



■和光市駅南口駅前広場のあり方・将来像

エリア別の主な課題 (2~3つ)		あり方・将来像 (こうなったらいいな)	
<p>A エリア</p> <ul style="list-style-type: none"> 規制ポールが歩行の障害になる 植込の管理が悪 窓内板が乱立している 	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設への案内、所要時間も 案内板は、外国語も 	<ul style="list-style-type: none"> 駅の正面入口、広くやる 公共施設への案内板は、駅出口の正面に 	<ul style="list-style-type: none"> 案内板 (知らなかった、見たいと思える、スルーしてしまう、写真で見え感) ★タクシーやネカフェ、子連れカフェなど、くわい内容が見込める
<p>B エリア</p> <ul style="list-style-type: none"> 自転車専用レーンが乗り入れ不可 何か所かあるクマが邪魔である 花壇の見直し 明るく 	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設への道矢印も、歩道は区別も 	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設への道矢印も、歩道は区別も ポール・駐輪所 	<ul style="list-style-type: none"> バス待機場所
<p>C エリア</p> <ul style="list-style-type: none"> 一般車両の通行、停止をできる様に ラケット型の植栽が置かれていると、暑い感じがする 	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設への道矢印も、歩道は区別も 	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設への道矢印も、歩道は区別も ポール・駐輪所 	<ul style="list-style-type: none"> バス待機場所
<p>D エリア</p> <ul style="list-style-type: none"> 有効利用 	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設への道矢印も、歩道は区別も 	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設への道矢印も、歩道は区別も ポール・駐輪所 	<ul style="list-style-type: none"> バス待機場所

4班「ちょっと降りてみよう人に優しい水と緑のまち和“光”」

主な問題・課題点

- ・案内板、掲示板がわかにくく、統一性もない。
- ・バリアフリー対策（歩道、車寄せ、表示、トイレ等）が十分でない。
- ・駅前広場は車優先の構造となっており、歩行者に優しくない。
- ・乗降客数は多いが、駅に降りていない。降りてもどこに行けばよいかわからない。
- ・広場全体的に街路灯が暗い。

各エリアの将来像

- A：・訪れる人にとって、降りたくなる場所
・住んでる人にとって、ホッとできる場所 } まちの顔となる場所づくり
- ・案内板を整備し、わかりやすく（周辺表示、広場内配置図、ICT、外国語）
 - ・井戸のオブジェで水（湧き水）のイメージを演出

B：歩きやすい空間づくり

- ・植栽コンテナ、街路灯、ポール等の再配置により、人の流れを整理
- ・構造物は、わかりやすく、美しく、統一感をもたせる

C：二ホニウムを観光の要素として活用

- ・車の動線を変更（2001号線への通行を制限）し、歩行者優先の空間

D：場所の有効活用化

- ・一般車や障がい者が車を止められる場所づくり
- ・緑の活用
- ・イベント利用



和光市駅南口駅前広場景観づくりワークショップ 南口駅前広場景観づくり方針表

和光市駅南口駅前広場の景観づくりの方向性 (キャッチフレーズやスローガンなど)
 ちょっと降りてみよう 人に優しい水と緑のまち 和光

和光市駅南口駅前広場		将来像	エリア別のあり方・将来像 (こうなったらいいな)	
エリア別の主な	車優先 人に優しい	3つ)	キウオアシ	エリア別のあり方・将来像 (こうなったらいいな)
A エリア	案内板 ・バラバラ ・来訪者が多い ・横はX ・外国語	案内板	水辺 ・水辺 ・水辺 (水辺可)	お休む場所 (緩み)
B エリア	建築物がバラバラ 親しみやすい わかりにくい	バリアフリー に対応していない	人の流れを整理 できる (空間づくり)	構造物 と
緑(常緑)全体	ニホニウム 目立たない	雨はけ狭い	車を通行できるようにする (ガストの前)	ニホニウム 観光の要素 活用する
街路灯全体	暗い	殺風景 障害者が 停められる 場所がない	タクシーの 場所に 停められる 場所 づくり	場所の 有効活用

予算
つける

(3) ワークショップのまとめ

各班共通に挙げられた主な問題・課題点

- 案内板の改善（煩雑さ解消、デジタル化、多国語化、市内・広場案内など）
- 待ち合わせスペースの確保（駅出た際の空間が狭い）
- トイレの改善（名称変更、認知、利用法、素材の暗さほか）
- 街路灯の改善（照度、輝度、光度）
- バリアフリー対策（歩道、車寄せ、表示、トイレ等）
- 広場の確保（プランターの再配置・素材変更、明るさ・活気の増加等）
- 公共交通誘導のわかりやすさ（バス、タクシー案内）
- 一般車両用の乗降場の確保（障がい者用と共用では使えない）
- ベンチの増設（交流の場）
- ニホニウムのアピール方法（観光資源）
- 構造物の外観（美観や統一感など）
- 緑の活用（緑の見せ方）



和光市イメージキャラクター
「わこうっち」